



3学期が始まってあっという間に2月も後半にさしかかろうとしています。暦の上では冬から春へ季節も変わりましたが、まだまだ吹雪が降るような寒い日もあります。今年は雪が積もる日も多く、雪合戦をしたりかまくらをつくったりと冬を存分に満喫しています。

今回は、雪遊びや餅つき、節分を通しての姿を各学年でお届けしようと思います。

### 雪の日も元気いっぱいの花組さん

今年の冬はとても寒く、雪が降ったりやんだりの日が続いています。何度も見ている大人にとって雪はうんざりしたり、厳しく身が縮こまったりしますが、子どもたちにとっては特別にうれしいものです。



午後から雪がどんどん降ってきた日がありました。大庭で遊んでいたAちゃんが急いで花組に戻ってきて「先生早く、あっち（大庭）に来て！あっちでね、雪が降ってるの」と知らせにきました。「本当！降ってるね。実はAちゃん、ここも降ってるのよ」と一緒に上を見上げると「ああ！本当だあ」とまた感動するAちゃんの姿がありました。Aちゃんの見せてあげなくっちゃという気持ちがうれしく、大庭だけに降ってきたと思っていた姿がとてもかわいらしいかったです。

花組の子どもたちの好きな遊びにワニワニごっこがあります。ワニ役の大人に追いかけてもらい、子どもたちは思い思いのキャラクターになりきって逃げたりたたかったりします。子どもたちにとっては雪が吹雪いていても関係ないようで「ワニワニごっこしよう」と外へ出かけていきます。あまりにも寒いのでワニ役になりながら私が「もう勘弁してください。きつとエルサのせいね、やめてくれー！飛ばされるー」と吹雪に向かって叫ぶと今まで忍者になっていた女の子たちが「実は私がエルサなの」「私もよ。雪ピーム！飛ばされなさい！」とエルサ達とワニの追いかっこになっていきました。

雪が積もった日もワニワニごっこをしながら雪合戦をしていましたが、そのうち、かまくらが作りたいという声があがり、かまくらを作ることになりました。たくさん子どもたちが雪を集めてきてくれますが、午前保育だったのでしずか先生と一緒に「時間がないわ。みんな頑張って運ぶわよ。みんなの夢を叶えなくちゃ」「そうよこれには夢がたまってんだから崩さないようにしっかり固めなくちゃ」など子どもたちに声をかけながら作っていました。すると裏庭でB君が「早く持って行かなくちゃ。時間は待ってくれな

いんだよ」C君「え、待ってくれないの？ふーん、早く行こう！」と話しながら集めています。どこかで聞いたことがあるんだなと思ながら子どもたち同士で声をかけ合う姿に少し成長を感じました。また、D君と一緒に雪を集めてかまくらまで運ぶと、受け取ったしずか先生に「僕の夢も入ってるよ」とD君。「本当！いっぱい入っているね」と話していると、側にいたE君も「はい、夢」と雪を持ってくるようになりました。なんとか、かまくらは完成し、帰りに二人ずつ入って楽しみました。立春は来ましたがまだまだ寒い日が続きそうです。寒さに負けず元気な花組さんと楽しみながら過ごしていきたいと思っています。（辻村）

### 節分の鬼はいつ来る？あと何回寝たら？

#### 鬼はやっぱり怖い風組さん



風組では、節分までに鬼の出る絵本を読んだり、みんなで自分のお腹の中にある鬼について話したりしました。「みんなはお腹の中にやつけたい鬼はいるの？」と聞いてみると、「朝寒くて眠たい鬼」「野菜食べられない鬼」「お菓子買って買って鬼」と子どもたち。節分の日にはみんなのお腹の中にある鬼も退治することを約束しました。

豆まきの当日、登園してからも「鬼はいつ来る？」「何色の鬼が来るの？」「豆はいつまくの？」と朝の支度中に子どもたち同士で話しながら落ち着かない様子でした。まだ豆の入っていない手作りの升をずっともっている子もいました。いよいよみんなが遊戯室に集まって鬼が登場すると、初めは花組・風組は硬直している子もいました。星組が鬼に向かって豆を投げ出すと大きな声をあげて、泣きながら豆を投げている子もいました。怖いけど勇気を出して「おには～そと～！ふくは～うち～！」と言いながら豆を投げている背中はいつよりも少し大きく見えました。

鬼をみんなで退治すると、心地よい音楽と共に福の神が登場しました。色とりどりの紙ふぶきが舞うと、子どもたちの表情は一変、遊戯室全体が優しくて神々しい空気に包まれました。福の神の紙ふぶきを大事そうに自分のポケットの中に入れて、「これね。持って帰ってお母さんに見せる」と言っている子もいました。

お弁当の時間には、節分にちなんだ“恵方巻き弁当”“鬼弁当”をもってきている子がいました。鬼をやっつける気持ちで楽しんで食べている姿を見ると、お家の方の気持ち子どもにも通じているなどほっこりしました。お家の方も、子どもたちと一緒に節分を楽しんでいることがお弁当から伝わってきました。季節の節目にもなる行事を毎年大切にしていきたいですね。まだまだ寒い日は続いているようですが、福の神が春を知らせに来てくれたので、だんだんと暖くなる気候を感じながら子どもたちと元気に過ごしていきたいです。（福田）

#### 幼稚園で最後のおもちつき

星組の子どもたちにとっては、幼稚園での最後のおもちつき。朝、「自分のできるところまでは頑張るね」と声をかけ、一生懸命エプロンを着けました。出来ないときには「やってください」と声もかけられるようになって

きた子どもたちに成長を感じつつ、さっと手を貸してくださるお父さん方にも感謝しつつ、準備完了！いよいよおもちつきがスタートです！

最初はしめ縄でもお世話になった先生方に、おもちをついてもらいました。その様子を見るなり、「あー！しめ縄のときの先生じゃ！」「ぼく知っちゃる！」と嬉しそうなおもちつき。何度か同じ先生に教えてもらうことは、子どもたちにとってはとても印象深いのだと感じました。

次は星組さんの番！もち米をこねたり、おもちになるまでついたりしてくれるお父さん方を見て、「お父さん、頑張るって！」「あ、〇〇ちゃんのお父さんがつくって！」「よいしょーっ！」と、農場や行事でお父さん方に手伝ってもらっているからか、自分のお父さんだけでなく、他のお父さん方にも声をかけていました。そして、自分達の順番が回ってくると、お父さん方と一緒に、嬉しそうにきねを持ってスタンバイ！少し照れた様子を見せつつも、さすが年長さん、しっかりつくことが出来ました。

頑張った後は、みんなでおもちを食べました。「おもちね、すきなよ」とおもちつきが始まる時から言っていたYくん。「先生、しょうゆのときなこのください。」「おおいけど食べられる？」「だいじょうぶ！」というやりとりをした数分後、再び、「先生、しょうゆのときなこのください。」と。「さっきも大きいの食べたけど、おなか大丈夫？」「うん、だいじょうぶ！！」と、お皿にのったおもちを嬉しそうに見つめて席へと戻っていきました。自分でついたおもち、しかもお父さん方も一緒にいる楽しい雰囲気とが相まって、いつもよりもおいしいおもちだったようです。

星組さんは、こうしてひとつひとつ園での行事が終わり少しさみしいですが、これが子どもたちにとってよい思い出となり、いずれは大きくなって日本のよい伝統行事を伝えていく側に回ってくれるといいなと願っています。

(厚東)

### 全国的にインフルエンザが流行しています

今年度、全国的にインフルエンザが流行しています。感染経路は、大きく分けて二つあります。①咳やくしゃみに混ざったウイルスが、鼻や口から進入する飛沫感染。②手についたウイルスが、鼻や口の中に入る接触感染。予防は、この二つの感染経路をシャットアウトすることです。

- ★手洗い  
石けんでウイルスを洗い流すことは、接触感染の予防に最も効果的。アルコールの手指消毒も有効です。
- ★うがい  
ある程度、口やのどについたウイルスを洗い流したり、のどの加湿効果が。子ども達には“お口ぶくぶく”の後に“お口がらから”をして、口の中と喉のウイルスを洗い流すように声かけをしています。
- ★こまめな水分摂取と部屋の加湿  
のどを加湿して感染しにくくします。水分摂取は、口やのどのウイルスを洗い流す効果も。部屋の湿度は50～60%に。



ご家庭で体調管理に十分留意されてください。